

アメリカ、大統領選挙

大統領選挙に熱中するアメリカ、本日開票。

それを見ている日本国民であるわたし、も結果が気になる。

共和党と民主党が国を二分するアメリカ、共和党の赤か民主党の青かを州ごとに塗りつぶした北アメリカの地図は、ゲーム版のように見ている人をひきつける。

ところ違えば、選挙のニュアンスもちがう。青い州ニューヨークの街角、チューインガム会社がやっていたガム投票は、とてもユニーク。ロムニー、オバマの顔をすこしだけぼかした写真を一枚のボードに並べてはり、きれいな方の候補の顔に、柔らかくなったガムを、ぺちよつと貼付ける。青い州の街ニューヨークは、ロムニーの顔がガムで覆われて。。

もう一つ、日本の政治家を選ぶプロセスとかなり違うのは、ビデオニュースを見るたびに、約20秒のCMを見るはめになる事。わたしのPCからはピンク○○ネードの広告が必ずと言ってよいほど流れる。

昨日は、レッスンの準備に何度かビデオクリップをクリックし、レッスン中にもビデオを使ったので数回、本日も数回、とやっていると、ギターをひきながら歌うピンク色のおねえさんの歌が頭から離れなくなってしまった。

ギターを持って歌うおねえさんのはっきりした口の形まで脳裏にうかぶようになった。

アメリカの大統領選挙は、ピンク○○ネードを連れて、地球上どんなところのパソコンにも登場しているのだから、人々の心に一番はいりこむのは、このおねえさんなのかもしれませんね。

さあ、選挙の行方はどうなったのでしょうか

